

周防亮介の協奏曲

“パガニーニ・ブルッフ・シベリウス”

[パガニーニ]

ヴァイオリン協奏曲 第1番

ニ長調 op.6

[ブルッフ]

ヴァイオリン協奏曲 第1番

ト短調 op.26

[シベリウス]

ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47

※都合により変更となる場合がございます

出演：周防亮介(ヴァイオリン) 渡邊一正(指揮)

日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

周防亮介

(ヴァイオリン)

@ JUNICHIRO MATSUO



渡邊一正(指揮)

@ Eisuke Miyoshi



© 飯田耕治

4.4

2024 THU

19:00開演(18:15開場)

サントリーホール 大ホール

S 7,500円/A 6,500円/B 5,500円/P 3,400円(税込)

チケット発売

一般：2023年12月2日(土)10:00～

先行：2023年11月18日(土)10:00～27日(月)

◇サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00 休館日を除く)

◇チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/suho-ryosuke/> (Pコード256-820)
セブン-イレブンにて取り扱い

◇ローソンチケット <https://l-tike.com/suho-ryosuke/> (Lコード34594)
店頭販売 ローソン、ミニストップ店内Loppiにて取り扱い

◇イープラス <https://eplus.jp/ryosuke-suho/>
ファミリーマート店舗にて取り扱い

[お問い合わせ] サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(平日12:00～15:00)

※チケットの取扱はございません

周防亮介の挑戦が止まらない。

2023年1月、サントリー大ホールの無伴奏リサイタルでは

パガニーニの「24のカプリース」と、J.S.バッハのバルティータ第2番を弾き切った。

2023年6月には、ブラームス、メンデルスゾーン、チャイコフスキーの協奏曲3曲に加え、

ラヴェルのツィガーヌ等の小品4曲を一晩で披露した。

2024年4月、パガニーニ、ブルッフ、シベリウスの協奏曲3曲をどう聴かせるのか。

Can't stop being excited.

周防亮介 Ryosuke Suho(Violin)

1995年京都府生まれ。7歳よりヴァイオリンを始める。2016年ヴィエニャフスキ国際コンクール入賞及び審査員特別賞受賞をはじめ、日本音楽コンクールやオistrap国際コンクールなど、国内外の数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。また第25回出光音楽賞や第25回青山音楽新人賞なども受賞。12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団やフランス国立管弦楽団、NHK交響楽団など数多くの国内外オーケストラと共演。15歳で初リサイタルをおこない清水和音や上田晴子など第一線で活躍するピアニストと共演を重ねる。2023年1月にはサントリーホール大ホールにて「無伴奏ヴァイオリン・リサイタル」を開催するなど、その活躍は目覚ましい。CDはオクタヴィア・レコードより『パガニーニ：24のカプリース』など4枚のアルバムをリリース。東京音楽大学特別特待奨学生としてアーティスト・ディプロマコースで学び、在籍中にロームミュージックファンデーションの奨学生にも選ばれる。東京音楽大学を修了後、江副記念リクルート財団奨学生として、メニューイン国際音楽アカデミーに留学。マキシム・ヴェンゲーロフ氏、ルノー・カピュソン氏のもと研鑽を積んだ。使用楽器は宗次コレクションより貸与されている1678年製ニコロ・アマティ。



@JUNICHIRO MATSUO



@Eisuke Miyoshi

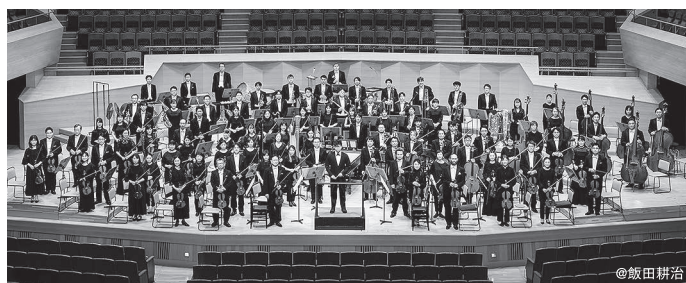
渡邊一正

Kazumasa Watanabe
(Conductor)

1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルのレジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。これまでN響の定期演奏会を始め、日本国内の主要プロ・オーケストラへ定期的に客演しその音楽性と指揮に対する信任を得ている。オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」、バレエでも同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年「白鳥の湖」新演出の指揮でも大成功を収めた。またサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、海外でも活躍している。ピアニストとしても8歳の時に東京響、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島響定期などで弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も高く評価されている。

日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra



@飯田耕治

1956年6月に故渡邊曉雄を中心に創立。「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ(地域活動)」という三つの柱に加え、2011年の東日本大震災以来「被災地に音楽を」届ける活動を継続している。首席指揮者カーチン・ウォン、桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に演奏会を行う。2026年の70周年に向け、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。毎週水曜日22時54分～23時、BS朝日『Welcomeクラシック』出演中。

■ ホームページ <https://japanphil.or.jp> ■ 公式X(旧Twitter) @Japanphil